

「第16回 WFOT 大会 2014」 Team Japan 出航  
— ラーメン1杯とコーヒー1杯で国際交流・国際貢献 —

"16th WFOT Congress, 2014" Team Japan has sailed: Let's exchange and contribute internationally with "one Chinese noodle and one cup of coffee"

山根 寛

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

「第16回 WFOT 大会 2014」副大会長，大会実行委員長

Key Words : 国際交流，国際貢献，WFOT，（国際大会）

**要旨**：2008年9月，スロベニアで行われたWFOT代表者会議で2014年の大会を日本で行うことが決まり，JAOT国際担当副会長を実行委員長として，大会準備委員会が発足した。学会時の国際シンポジウム開催などアジア発の大会に向け準備を進めてきたが，2010年チリ大会時に，WFOT大会はWFOTと開催国との協働で運営する事が決定され，大会準備委員会はTeam JapanのJAOT組織委員会として再編された。2月にはWFOTとJAOTの第1回合同会議が開かれ，Team Japanが船出する。千葉での代表者会議，横浜での開催と，首都圏4士会の協力を得て，JAOTの総力を結集した一大行事になる。その経緯を紹介する。

"16th WFOT Congress, 2014" Team Japan has sailed: Let's exchange and contribute internationally with "one Chinese noodle and one cup of coffee"

By

Hiroshi Yamane:OTR PhD

from

Human Health Science, Graduate School of Medicine, Kyoto University  
(Co-convenor and Executive chairman of "16th WFOT Congress, 2014")

It was decided to hold "16th WFOT Congress and 2014" in Japan in the 28th WFOT council meeting done in Republika Slovenija in September, 2008. It was decided to hold "16th WFOT Congress and 2014" in Japan in the 28th WFOT council meeting done in Republika Slovenija in September, 2008. "16th WFOT Congress, 2014" Team Japan was organized, and the JAOT organizing committee was reorganized in November, 2010. The 1st joint session on WFOT and JAOT was held in February, 2011, and Team Japan left port on behalf of Asia.

International exchange, International contributions, WFOT, (Interntinal Conngress)

## はじめに

2008年9月、43カ国（委任状6カ国）総勢65名が出席してスロベニアの首都リュブリャナで開催された第28回WFOT代表者会議<sup>\*1, 2</sup>で、2014年の第16回WFOT大会が日本で行われることが決まった。アジアで初めてのWFOT大会<sup>\*3</sup>である。日本はもちろんアジア諸国の作業療法士にとっても意義深い決定であり、日本作業療法士協会（JAOT）と会員が総力をあげて取り組まなければならない大事業である。

第16回のWFOT大会から、WFOTと開催国との協働運営で行われることがチリ大会で確認され、その運営プロジェクトとしてTeam Japanが組織された。大会はバイリンガルで行われ、無理と言われていた国内学会を兼ねることも認められた。これにより、例年の作業療法学会での発表と同じ気持ちで国際学会の発表が可能になった。言語の壁を越え、広く視野を広げる絶好の機会になるものと思われる。

会員各位が「第16回WFOT大会2014」の意義を理解され、積極的に参加されるよう、WFOT大会趣致が決定するまでと決定後の経緯、そして2011年2月段階での準備状況などを報告する。

## 招致に至る経緯

アジアで初めてWFOT大会が日本で開催されるに至った経緯を簡単に振り返ってみると表のようになる。思い起こせば2000年に札幌で行われた第24回WFOT代表者会議で、当時WFOT副会長であった故・佐藤剛氏の「アジアの文化と価値観に根付いた作業療法の発信」という願いを組むかのように、2006年の世界大会はマレーシア開催に決定した。しかし、諸般の事情によりマレーシアでの大会はオーストラリアに変更され、アジア初のWFOT大会は夢となった。

2004年に南アフリカで行われた第26回の代表者会議でも日韓共同開催でという話も出たようであるが、当時はJAOTにそうした心の準備がなく、2010年の大会はチリ開催に決定した。その後、日本でWFOT大会を開催しようという気運が高まり、2007年のJAOT総会の決定を受け、特設委員会として「WFOT世界会議招致委員会」が、奈良進弘氏を委員長として設置され、招致活動が開始された<sup>1)</sup>。

そして2008年6月、長崎で行われた第42回日本作業療法学会では、当時のWFOT会長Sinclair氏や副会長Brintnell氏らを招いて「WFOTシンポジウム」を開催するなど、積極的な招致活動が行われた。そうした約1年にわたる招致活動を経て、2008年9月にスロベ

ニアで行われた第 28 回の代表者会議では、杉原元会長を始めとする招致委員が開催計画のプレゼンテーションを行い、投票の結果、2014 年の第 16 回 WFOT 大会の日本開催が決定した。国土交通省、日本政府観光局（独立行政法人国際観光振興機構）、横浜市、財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、パシフィコ横浜による連携協力体制が功を奏した。

### 招致後 1 年間の経緯

2008 年 9 月に日本への招致が決まり、その翌月の JAOT 理事会で杉原元会長より招致決定と国際担当の副会長が実行委員長という報告があった。そうして手探りの準備が始まった。招致に至る経緯は「作業療法」28 巻の時流<sup>1)</sup>に、招致後の経緯に関しては、第 337 号の協会ニュースから毎月連載記事が掲載されているので参照されたい。

#### 1. 賽は投げられた

準備を始めなければならないが、日本で初めての WFOT 大会であり、何をどのような形で行うのか見当がつかない。しかし、すでに「賽は投げられた (Jacta alea est)」のである。とにかく準備委員会を立ち上げて検討を始めようということになり、2008 年度第 6 回の理事会で、「WFOT 世界大会準備・推進プロジェクト」（当時の名称）を組織し、実行委員会設立までの準備を行うことが承認された。それを受けて、2009 年の年明けに、関連士会（神奈川、東京、埼玉、千葉）に協力依頼をし、2009 年 2 月に第 1 回 WFOT 世界大会準備・推進プロジェクト会議がもたれることになった。

#### 2. WFOT 世界大会準備・推進プロジェクト

その第 1 回準備委員会で、①世界大会と国内学会を同時開催とする、② 2009 年度改選後早期に実行委員会を組織し業務を移行する、③作業療法士協会事務局に国際担当事務員をおき協会の窓口とする、④ WFOT 大会長は日本作業療法士協会会長とし国内大会大会長を兼務する、⑤ 2009 年度より 2013 年度まで、国内学会に国際セッションを設け、毎年各国より 2、3 名を招聘しシンポジウムを開催する（国際シンポジウムは、協会主導プログラムとし、国際部等を中心に運営の予定）、といった大枠の方向性が確認された。その後この準備委員会は、5、7、9 月と 3 回開かれ、4 回目の 9 月に準備委員会は「WFOT 世界大会実行委員会」に移行した。

#### 3. WFOT 役員と初会議

2009 年の第 43 回日本作業療法学会（福島）で、WFOT 副会長 Anne Carswell、国際協力 PCo

を兼務する事務局長 Marilyn Pattison, 韓国作業治療士協会会長 Min Ye Jung の3氏を迎えて、大会招致決定後第1回の国際シンポジウムがもたれた。このとき、世界大会に関する情報を得るため、シンポジストとして招いた2名のWFOT役員と打合せを行った。

WFOTは組織体制も社会的背景も異なる70カ国あまりの国の代表者からなる意見を集約しながら、立候補による少数の執行部でさまざまな基準を決定するため、多くの基準が決められてはいるが、明確でないものや暫定的と思えるものも多い。特に財政的に不安定なWFOTにとって、世界大会の運営のあり方は死活問題であり、運営マニュアルは毎回のように変更が加えられている。

そうした状況下、初めての打合せで得られた情報は、以下のようなものであった。

- ・スウェーデンの大会までは運営を開催国に一任していたが、WFOTと開催国の協働運営を検討しており、詳細はチリ大会で決定する。
- ・演題抄録の査読システムは契約しているオンラインシステム(Oxfordシステム)がある。
- ・学会8カ月ほど前あたりから、スカイプで毎月国際会議をうことも検討中。
- ・世界大会と国内学会の同時開催はドイツで不評だった(国内学会をドイツ語だけで行った)ので、同時開催はできない。
- ・参加予定者は、スウェーデンで3200人、オーストラリアで3000人。
- ・スウェーデン、カナダの失敗だった(エンターティナーや食費に予算がかさんだ上、通訳をつけなかったので参加者が少なかった)ので、固定予算の削減が必要。
- ・チリ大会の演題募集は、英語、英語とスペイン語、スペイン語(英訳要)で行う。
- ・日英併記の大会運営に関するMemorandum of Understanding(合意書)を作成する。
- ・代表者会議参加者の登録費はWFOTが払う。
- ・大会は運営マニュアルによるが、チリ大会終了後マニュアルを修正する。

#### 4. WFOT世界大会実行委員会(仮称)

WFOTとの協働運営と聞かされるが、Memorandum of Understanding(合意書)が交わされておらず、運営マニュアルもチリ大会後に修正されるとのことなので、とりあえず予定通り準備委員会を「WFOT世界大会実行委員会」に移行した。これが、今の「Team Japan国内組織委員会」の前身にあたる。移行と同時に2009年9月に第1回会議を開き、チリ大会へのツアー企画やプロモーション、国内への広報の仕方などの検討が始められた。

こうした一連の活動が、日本の国際学術交流としても大きく期待され、「平成21年度日本政府観光局(JNTO)国際会議誘致・開催貢献賞」を受賞した<sup>2)</sup>。作業療法の社会的

認知を高め、日本の作業療法士の心と感性を技術として世界に発信するまたとないチャンスが到来したという思いであった。

チリ大会でのプロモーションに向けてロゴマーク（図）も公募で決まり、大会テーマも「Wisdom of OT from Asia to the world（作業療法の知をアジアから世界へ）」（仮）とされた。WFOT 世界大会実行委員会第 2 回会議で、会場となるパシフィコ横浜、横浜コンベンションビューロー、運営を委託することになったコンベンション・リンケージと対面し、チリ大会でのプロモーションに向けて準備が始まった。

### チリ大会とその後

約 2000 名収容のメイン会場が人で埋まり、ラテン音楽の哀愁を秘めた陽気なリズムで華やかに幕を開けた第 15 回 WFOT Congress チリ大会。2014 年に日本で開かれる大会への関心は高く、日本のブースは常に人だかりだった。横浜のはっぴを着た記念撮影がいつの間にか始まり、自然発生的に始まった折り紙体験コーナーとともに、大会中人の訪れが途切れることなかった（写真 1, 2）。

大会前の代表者会議<sup>3)</sup>での確認、そして大会中に WFOT 役員との 2 回目の打合せを行い、2014 年の大会は日本作業療法学会を兼ね、大会の名称にも併記されることが了承された。また、主催国の言語と英語のバイリンガル方式で行うということも正式に決まった。

しかし、その後も問い合わせの度に二転三転する内容や遅延する返答に振り回されながら、チリ大会後に修正するとされた運営マニュアルも届かないまま、従来のマニュアルに沿っての企画作業が続いた。そうして 2010 年 10 月末になって、Memorandum of Understanding（合意書）に WFOT 会長と JAOT 会長のサインが 4 カ月遅れでなされ、やっと協働運営プロジェクト Team Japan が生まれた。

### Team Japan 出航！！

この報告を目にされる頃には、第 1 回の Team Japan 合同会議が終わっており、審議事項で残されている大会テーマの調整や参加費、査読システム、など未調整の事項もほぼ見通しがついていることだろう。

#### 1. ラーメン1杯とコーヒー1杯で

2006 年のオーストラリアのシドニーで開催された大会参加費は、財政面の厳しい制約により、当日払いで 10 万円を超えるという非常に高い設定で、それがネックになり参加

できなかった途上国の作業療法士もいて、結果的に参加者総数が 2,000 人ほどと低調だった。このような事情、および国内学会を兼ねるということを考えて、参加費用を抑え、寄付等を募り、国内外からできるだけ多く作業療法士が参加できるようにしたい。そのために、2010年1月より「ラーメン1杯とコーヒー1杯で国際交流・国際貢献」をキャッチフレーズに、ロゴマークのピンバッジ販売や寄付を呼びかけている（寄付口座：「ゆうちょ銀行」、口座番号；00110-1-585996、加入者名；第16回WFOT世界大会組織委員会）。

その呼びかけに、大先輩の作業療法士が協会事務局に来られ、「頑張りなさい」と10万円を寄付して行かれた。物心両面の暖かく力強い励ましであった。

## 2. 言葉の壁を越えて

国際学会は、共通のテーマを介して世界の作業療法士と語り合えるという点で大きな魅力があり、新たな交流が生まれるまたとないチャンスである。2014年の大会は日英のバイリンガルで行われる。言葉の壁を越えた交流をさらに広げるため、多くの翻訳・通訳ボランティアも募る。演題募集は2012年秋に始まり、応募締め切りが2013年4月、選考6月の予定である。日本作業療法士協会の総力をあげて取り組み、日本の作業療法の発展とともに、あなたの新たな世界の広がりにも挑戦しましょう。

### 文献

- 1) 奈良進弘：WFOT 学会招致活動と第 28 回 WFOT 代表者会議。作業療法 28：4-8, 2009.
- 2) 作業療法士協会：平成 21 年度日本政府環境局（JNTO）国際会議誘致・開催貢献賞を受賞。日本作業療法士協会ニュース 336：20, 2010.
- 3) 石橋英恵：第 29 回世界作業療法士連盟代表者会議の報告。作業療法 29：562-575, 2010.

表 「第 16 回 WFOT 大会 2014」 に向けての経緯

年月	経 緯
2000/ 5	第 24 回 WFOT 代表者会議（日本）：第 14 回 WFOT 大会 2006 マレーシア開催決定
2004/ 4	第 26 回 WFOT 代表者会議（南アフリカ）：第 15 回 WFOT 大会 2010 チリ開催決定 事情により第 14 回 WFOT 大会 2006 はオーストラリアに変更
2007/ 6	JAOT 総会決定を受け、特設委員会「WFOT 世界会議招致委員会」設置
2008/ 6	第 42 回日本作業療法学会（長崎）で「WFOT シンポジウム」開催
9	第 28 回 WFOT 代表者会議（スロベニア）：第 16 回 WFOT 大会 2014 日本開催決定
2009/ 2	「WFOT 世界大会準備・推進プロジェクト」第 1 回会議
2009/ 5	「WFOT 世界大会準備・推進プロジェクト」第 2 回会議
6	第 43 回日本作業療法学会（福島）：国際シンポジウム開催 WFOT 役員と情報収集のため初の打ち合わせ
7	「WFOT 世界大会準備・推進プロジェクト」第 3 回会議
9	「WFOT 世界大会準備・推進プロジェクト」→「大会実行委員会」
2010/ 2	「大会実行委員会」第 2 回会議
5	第 29 回 WFOT 代表者会議（チリ）：経過説明 第 15 回 2010WFOT 大会 2010（チリ）：Team Japan としての協働運営が正式決定
6	第 44 回日本作業療法学会（宮城）：国際シンポジウム開催
10	Team Japan 覚書に調印
11	暫定学術委員会、第 1 回「Team Japan 国内組織委員会」開催
2011/ 2	Team Japan 第 1 回合同会議開催



図 ロゴマーク



注

**\* 1 : WFOT**

WFOT (The World Federation of Occupational Therapists) は、1952年に設立され、世界中の国と地域を代表する作業療法士の協会によって構成される国際組織である。現在、正会員・準会員・賛助会員をあわせ74カ国の国と団体がWFOTに加盟している。WFOTは、教育・研究、国際協力、広報・発展、基準・資質の4つの分野で構成され、執行部は会長、副会長、財務担当副会長、事務局長、委員会委員長 (program coordinator; PCo) からなる。いずれも任期4年、再任は2年1回まで、事務局長は再任回数の制約はない。これまで法人(NGO)としての法的な登録をもたない任意団体であったが、2009年11月にスイスで法人登録を完了した。

**\* 2 : WFOT 代表者会議**

WFOT 代表者会議 (WFOT council meeting) は、2年に1回、WFOT加盟国の代表が集まり、WFOT 設立の趣旨に基づいて国際的な作業療法の発展に向けた論議がなされる会議である。議案は、作業療法の普及、啓発、実践や理論、教育など作業療法の質の維持・向上、国際学会の企画や出版物、対外的な情報の提供などの多岐にわたり、5日間の日程で行われる。2014年の代表者会議は、第16回WFOT大会に先立ち千葉で開催の予定である。

**\* 3 : WFOT 大会**

WFOT 大会 (WFOT Congress) は4年に1度開催される。